

日本共産党 和歌山市委員

ひめだ高松ニクス

No.1085

16.1.12

年金引下げ違憲訴訟

報告学習会を
支援する会

12月25日(金)に開かれた報告学習会に「支援する会」が賛同者の内容について報告します。

年金受給者も「未来を守る取り組み」 現役労働者も

「年金引下げ違憲訴訟」報告学習会

報告学習会は、中谷年金者組合(本部委員長、松井中央副委員長があいさつ)。

弁護団(山崎・上野・由良・森崎・芝野弁護士)から

芝野弁護士が訴訟の内容と移送問題について報告があ

りました。芝野弁護士は、

「この年金引下げは年金受

給付水準の現実について、実際のケースを紹介しながら解説。年金引下げ違憲訴訟運動は、不安定雇用、低賃金の方、大企業、富裕層優遇の政治で金困と格差拡大の社会、戦争する国でいいのか?を問う運動だと指摘しました。

「年金引下げ違憲訴訟」

を支援する和歌山の会結成

総会は、深谷書記長が、憲

法25条の「生存権」と4条

の「法の下の平等」を守り

29条の「財産権」を守るた

めに、年金引下げは憲法

違反だとして提訴した裁判

を、原告の方も原告でない

方も、年金受給者も年金を

受け取っていない方も現役

労働者の方も「未来を守る取り組み」として支援する会を結成すると、総務と申し合の件事項、役員について提案しました。

の氏から市川和名誉教授が、年金制度は人間らしい生活をするための制度であり、それをないがしろにすることは許せないとあいつつおっしゃいました。

今週の フツの 人々

(その31)

空梅の重ね着・最新版

日、月、木、金曜は4時に目覚ましをセットして赤旗新聞日刊紙の配達をしています。下着の上にはジャーミヤズボンヤジヤンパーなど上下にそれぞれ6枚ずつ重ね着をして、その上にネックウォーマーをするのが今年のスタイル。寒さ対策はベッチリですが、難点は、雨の日はこの重ね着ができません。この、バイクが止まったときに車庫でメ

ガネがくもることです。

止まったときに鼻を出したらいだけのことです

が、なぜか最近、バイクに乗ったままホストに新聞を入取る間は、何気

息を止めることがあり、

それで息苦しくなると、

「あっ、息をするのだから

おどった」と、ひとり赤

面することがあります。

そして、この都度、年を

取るというのは、こうい

うことがマホみたいにか

みじみしいのです。



ひめだ高松

フツの 人々

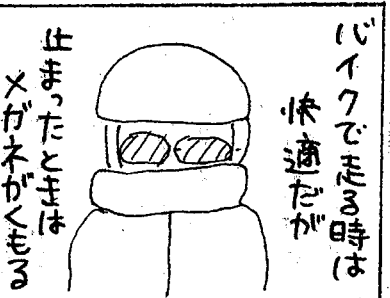
(868)

空梅の重ね着



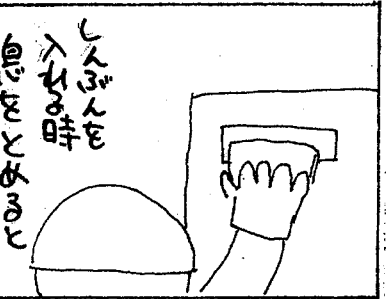
フツの重ね着

バイクの重ね着



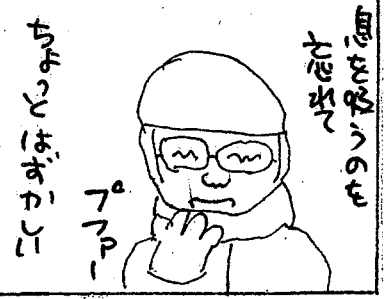
フツの重ね着

バイクの重ね着



フツの重ね着

バイクの重ね着



フツの重ね着

30年間もの年金引下げ計画

政府が今後30年間も続けようとしているマクロ経済スライドは、2004年改悪で導入された年金財政の安定を口実に物価(賃金)が上がっても、少子高齢化による年金財政への影響分(調整率)を差し引いて年金の伸びを抑える「年金米準切り下げ」の仕組みです。調整率は、保険料を納める人(現役労働者)の減少

率(0.6%)と平均寿命

許せない年金財源の株投資

年金財政の安定を口実に年金支給額を切り下げる一方で、政府は年金財源を株に投資し、財源を増やすどころかバカみたいにして減らしているのです。しかもそこに反省はなく、だれも責任を取らず、株への投資は拡大する方針です。こんな政

の伸び率(0.3%)をもとに2004年当時の0.9%とさ水ました。

府には早々に退陣してもらい、国民本位の新しい政府を実現しなければ、私たちのくらしは良くなりません。

日本共産党 南ブロック後援会 新春のつどい
 1月31日(日) 10時~12時
 柳家万葉館 集会とお楽しみ会
 (食事はありません)

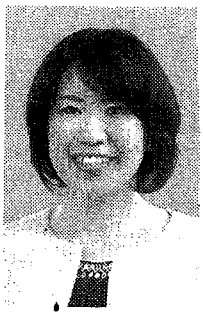
つどいでは日本共産党

「はたちのつどい」で1月10日、ビッグホールで行われた「はたちのつどい」に民青同盟の方たちとお祝いを伝えるとともに署名やアンケートを行いました。

2人に1人が非正規雇用、その8割が年収150万円以下という若者にとって本当に生きにくい社会。経済的な理由で進学を諦める方、バイト漬けの毎日を送っている大学生も増えています。先進国44か国のうちの17の国が学費は無償。他の国は返さなくてもいい奨学金で応援。どちらもないのは日本

だけです。

この夏の参議院選挙は若者を苦しめる悪政を変えるチャンスです。新成人の方たちが希望ある未来を生きていけるよう私も力いっぱい頑張ります。



坂口 美子 (参院選挙区)

潮流

社会をよりよく変えていきたい、弱い立場の人になりたくない、働く人間になりたくない、働く復讐のためにがんばる。本紙やニュースで見聞きした20歳の決意です。▼おとなの自覚もなく、学生生活を過ごしていたわが身を振り返ると、お恥かしい。2016年の新成人は121万人。主権者として社会に向き合い、どう生きていくか。真剣に語る若人を見てみると、身が引き締まります。▼「これからの日本の政治に期待できない77%。自分たちが日本を変えてやりたい65%」。インターネットによる新成人調査でこんな思いがあらわれました。S EALDSをはじめ現政権に対して声を上げてきたように、政治を変える力になりたいと考える若者は多い。

▼今夏の参院選から初めて18歳選挙権が適用されます。新たに加わる約240万人の有権者。ある週刊誌の18歳調査では、安倍内閣の不支持率が55.9%と過半数を占めました。とくに女子は66.4%にも。7割近くが投票に行くとも答えています。▼戦争への不安とともに景気や子育て・教育、いじめや少子化、ブラック企業や最低賃金の引き上げ、若者たちが国に求める対策は切実です。夢や将来を描けない不安定さの中で悩み苦しんでいる実態があるからでしょう。▼選挙権が引き下げられたことで、若い世代の政治への関心は高まるはず。共産党に入りたい。20歳の看護学生は「日本の国づくりに参加できるワクワク感がある」と。志をもつ主権者として政治変革の道を歩めることを喜び合いたい。

▼今夏の参院選から初めて18歳選挙権が適用されます。

赤旗 日刊
 日3月497日
 823日